

令和6年度とちぎ健康福祉協会事業報告

自 令和 6年 4月 1日

至 令和 7年 3月 31日

I 概要

少子高齢化や労働人口の減少など社会福祉法人を取り巻く環境が厳しさを増す中で、とちぎ健康福祉協会基本計画（四期計画）の初年度となる令和6年度は、各事業の着実な実行に努め、主に次の事項について取り組んだ。

人事管理については、人事考課制度において従来の人事考課研修等に加え、被考課者研修や考課者及び被考課者からの意見聴取を行い、制度の適切な運用及び定着を図った。また、キャリアパス制度に則した人材育成を行うため、目指すべき職員像を示し、研修体系等を明確にした「成長のビジョン」を策定した。人材の確保については、インターンシップの受入れ等に取り組むほか、年度中途の採用などにより支援職員等の補充に努め、賃上げが進む社会情勢の中で令和7年度からの基本給の改定を決定した。さらに、適切な労働環境の整備に向け、労働時間を確認するための新たな勤怠管理システムを導入し、併せて労働時間管理の取扱いを定めた。

社会福祉事業については、各施設等の特徴を踏まえた事業を展開し、利用者の確保及び質の高いサービス提供に努めた。特に児童分野においては、県民から選ばれる施設となるよう保育内容の見直しなどソフト面の充実を図ったほか、障害分野においては、令和6年度報酬改定に対応し、健全な経営の確立に努めた。一方、障害者支援施設において感染症の集団感染が発生し、事業運営に影響が生じた。

公益事業については、令和6年度から10年間の指定管理期間の初年度として、「はつらつプラン21（九期計画）」や「とちぎ健康21プラン（2期計画）」等に沿った高齢者の生きがいきづくりの支援や県民の総合的な健康づくりの支援を行ったほか、「とちぎ健康の森」の施設及び敷地の維持管理に努めた。また、介護支援専門員（ケアマネジャー）の養成研修やねりんピックとちぎ2024の開催など高齢者に関わる包括的な支援を行った。

このように、法人として取り組むこととした事業については概ね実行してきたところであるが、引き続き協会の更なる「成長と発展」を目指すため、基本計画（四期計画）を着実に実行し、この計画のスローガン「わたしがつくる みんなでつくる 笑顔あふれる とちぎ健康福祉協会」を合言葉に、職員一人ひとりが共通認識を持ち、一丸となってその実現に向け取り組んでいく。

Ⅱ 総務福祉部所管事業

1 総務課

(1) 事業執行概要

協会を取り巻く課題解決と更なる「成長と発展」を目指すための、令和6年度を初年度とする5か年計画「とちぎ健康福祉協会基本計画（四期計画）」の実現を図るため、各施設等と連携しながら各種事業を実施した。

人事管理については、人事考課制度においてフィードバック研修や人事考課者ミーティングに加え、人事考課被考課者研修を新たに実施したほか、考課者及び被考課者を対象とした意見聴取とその結果を踏まえた「人事考課制度に関する Q&A」を作成し、適切な運用及び制度の定着に努めた。

人材の確保、育成については、年度当初から欠員が続いたため、オンライン就職説明会や施設見学を実施し、職員採用試験を複数回実施したほか、インターンシップの実施や県内の福祉系学校訪問などを行い人材の確保に努めた。また、キャリアパス制度に則した人材育成を行うため、人材育成方針「成長のビジョン」を策定した。

労務管理については、労働時間管理の取扱いを定めたほか、新たな勤怠管理システムを導入し、勤務時間の適正な管理を徹底するべく法令遵守に努めた。

障がい者支援センターふれあいの建替整備については、前年度の社会福祉施設等施設整備費国庫補助金申請の不採択を受け、新たに施設機能の強化を図る設計変更を行い、改めて申請を行った結果、令和6年度障害福祉サービス事業所等整備費補助金の内示を受け、令和7年度での完成を目指すこととなった。

(主な実施事業)

① 安全安心で良質なサービスの提供

ア 福祉サービス利用者の人権の尊重

○権利擁護意識の醸成のための全職員を対象とした権利擁護研修の実施

② やりがいと誇りの持てる職場づくり

ア 多様な採用活動による人材の確保

○写真を多く活用した法人パンフレットの更新

○学生を対象としたインターンシップの実施

○県内の福祉関係学校訪問の実施

イ 働きやすくやりがいのある職場づくり

○キャリアパス制度理解及び改善のための研修等の実施

（人事考課者研修、人事考課被考課者研修、フィードバック研修、人事考課者ミーティング、

「人事考課制度に関する Q&A」の策定)

○ハラスメント防止に関する要綱の策定

ウ キャリアパス制度に基づく人材育成の推進

○キャリアパス制度に則した人材育成方針「成長のビジョン」の策定

○職員の知識や技術の交流を目的とした施設間交流研修の実施

③ 地域社会への貢献と信頼構築

ア 地域との連携と地域貢献

○SNS「Instagram」の定期的な更新による情報発信の実施

④ 健全で堅実な経営

ア 法人理念の浸透

○階層別研修における理念の周知

イ 健全で安定的な財務基盤の確立

○全国社会福祉法人経営者協議会が提供する「経営協ドック」の実施

ウ コンプライアンス（法令遵守）の徹底

○コンプライアンス関係研修の受講

エ 業務の効率化

○国際福祉機器展を始めとする最新情報の収集

○職場の DX を推進するためのプログラムの実施及び成果の報告

(2) 事業実績

ア 職員研修の実施

開催年月日	内容
令和 6 年 4 月 16 日～17 日	令和 6 年度新規採用職員研修（前期）
令和 6 年 4 月 18 日	人事考課者研修（考課及び面接研修）
令和 6 年 10 月 16 日	令和 6 年度新規採用職員研修（後期）
令和 6 年 10 月 29 日	第 1 回事務担当者研修会
令和 6 年 11 月 1 日	人事考課者研修（フィードバック研修）
令和 6 年 12 月 17 日、25 日	人事考課被考課者研修
令和 7 年 1 月 31 日	人事考課者研修（人事考課者ミーティング）
令和 7 年 1 月～2 月	施設間交流研修
令和 7 年 2 月 7 日	権利擁護研修
令和 7 年 3 月 13 日	採用内定者研修
令和 7 年 3 月 21 日	第 2 回事務担当者研修会

イ 職員採用の実績

(ア) 令和 6 年度中採用

職種	試験方法	実施時期	採用日	採用人数
支援職	競争試験	令和 6 年 8 月	令和 6 年 10 月 1 日	1 名
	競争試験	令和 6 年 11 月	令和 7 年 2 月 1 日	1 名
保育職	競争試験	令和 6 年 6 月	令和 6 年 7 月 1 日	1 名
資格職〔看護師〕	競争試験	令和 6 年 12 月	令和 6 年 3 月 1 日	1 名
事務職	競争試験	令和 6 年 7 月	令和 6 年 9 月 1 日	1 名
計				5 名

(イ) 令和 7 年 4 月 1 日採用

○新規採用

職種	実施回数	試験方法	実施時期	採用人数
支援職	第 1 回	競争試験	令和 6 年 8 月	保育職 1 名
	第 2 回	競争試験	令和 6 年 10 月	事務職 1 名
事務職	第 3 回	競争試験	令和 6 年 11 月	支援職 1 名
保育職	第 4 回	競争試験	令和 6 年 12 月	支援職 2 名
	第 5 回	競争試験	令和 7 年 2 月	事務職 1 名
計				6 名

○嘱託職員から正職員への登用

職種	実施時期	採用人数
保育職	令和 7 年 2 月	1 名

(ウ) 人材確保の取組

○インターンシップの実施

学生を対象としたインターンシップの実施（参加者 7 名）

○求人サイトの活用

ハローワーク、福祉人材センター、求人検索エンジン「IndeedPLUS」、医療福祉の求人サイト「ジョブメドレー」のスカウト活用等

○就職説明会への参加

福祉のお仕事就職フェア、障害者合同就職面接会

○就職説明会等の実施

Zoom を活用したオンライン説明会（9 回）、施設見学（14 回）

○学校訪問

県内の福祉系学校への訪問実施（大学 3 校、短期大学 3 校、高校 4 校、専門学校 3 校）

○その他

SNS「Instagram」の更新、採用内定者研修、内定式の実施

ウ 評議員会の開催

回数	開催年月日	内容
第 78 回	令和 6 年 4 月 1 日	役員の選任について
第 79 回	令和 6 年 6 月 18 日	令和 5 年度とちぎ健康福祉協会決算について 他
第 80 回	令和 7 年 3 月 26 日	令和 7 年度とちぎ健康福祉協会事業計画について 他

エ 理事会の開催

回数	開催年月日	内容
第 113 回	令和 6 年 4 月 1 日	理事長の選定について 他
第 114 回	令和 6 年 6 月 3 日	令和 5 年度とちぎ健康福祉協会事業報告について 他
第 115 回	令和 6 年 12 月 5 日	令和 6 年度とちぎ健康福祉協会資金収支補正予算について 他
第 116 回	令和 7 年 3 月 18 日	令和 7 年度とちぎ健康福祉協会事業計画について 他
第 117 回	令和 7 年 3 月 25 日	事務局の長の任免について

オ 評議員選任・解任委員会

開催無し

カ 監事監査の実施

開催年月日	内容
令和 6 年 5 月 27 日	令和 5 年度事業執行及び決算

キ 課長施設長等会議の開催

回数	開催年月日	内容
第 1 回	令和 6 年 4 月 23 日	令和 5 年度経営状況報告及び令和 6 年度の取組みについて 他
第 2 回	令和 6 年 7 月 22 日	人事考課制度について 他
第 3 回	令和 6 年 11 月 7 日	労働時間の管理について 他
第 4 回	令和 6 年 12 月 25 日	給与改定について 他
第 5 回	令和 7 年 2 月 26 日	給与改定について 他

ク 施設等連絡調整会議の開催

回数	開催年月日	内容
第 1 回	令和 6 年 7 月 2 日	四期計画の取組状況について 人事考課制度における課題について 他
第 2 回	令和 6 年 8 月 1 日	研修制度の構築について 他
第 3 回	令和 6 年 9 月 9 日	四期計画の進行管理について 研修制度の構築について 他
第 4 回	令和 6 年 10 月 9 日	風通しの良い職場について 人事考課制度に関する Q&A について 他
第 5 回	令和 6 年 10 月 31 日	研修制度の構築について 他
第 6 回	令和 6 年 11 月 27 日	研修制度の構築について 他
第 7 回	令和 6 年 12 月 18 日	研修制度の構築について 他
第 8 回	令和 7 年 1 月 27 日	四期計画の進捗について 研修制度の構築について 他
第 9 回	令和 7 年 2 月 14 日	四期計画の評価について 経営目標について 他
第 10 回	令和 7 年 3 月 5 日	令和 6 年度四期計画進捗状況報告について 経営目標について 他

2 わかくさ

(1) 事業執行概要

母子の DV 被害からの退避や回復、親子関係の構築や社会的自立の促進などの取組みを強化しながら、母子が健全な社会生活を営めるようチームによる支援及び関係機関との連携により、7 世帯の新規入所と 7 世帯の自立を達成した。

利用者確保に向けた取組みとして、福島県及び関東圏の福祉事務所等にダイレクトメールの発送と電話による周知を行ったほか、県内自治体を対象とした見学会と意見交換会を実施し、16 自治体 92 名の参加があり、更なる連携強化を図ることができた。利用世帯に応じた多岐にわたる支援の提供と広報活動の成果により、基本計画の目標世帯数を達成した。

また、令和 6 年 5 月から子育て短期支援事業（ショートステイ）を開始し、県内 9 市町から事業を受託し、1 世帯の利用があった。母の精神面を支え、子の安全を確保するため、夜勤職員を配置するほか助産師による母への指導及び助言を行い、安定した母子生活を始めることに寄与し、地域福祉の向上に貢献した。

(主な実施事業)

① 安全安心で良質なサービスの提供

ア 福祉サービス利用者の人権の尊重

- 法人主催の権利擁護研修への参加
- 利用者支援内容の自己チェック・自己点検による虐待防止の徹底

イ サービスの質の向上

- 心理療法担当職員による母子の心のケアと小学生への集団心理療法の実施
- 様々な課題を持つ母子に対する個別支援会議の実施
- 会議の場での施設運営理念やサービス提供方針の周知
- 助産師による職員の支援技術向上を目的とした研修の実施
- 第三者評価結果の活用について職員への周知及び自己評価の実施
- ヒヤリハット事例報告の運用開始及び再発防止策の検討実施

ウ 安全安心な環境整備

- 災害時における利用者の安全確保のための備品購入及び備品一覧表の作成

② やりがいと誇りの持てる職場づくり

ア 働きやすくやりがいのある職場づくり

- 異動職員に対し、教育係を配置しての OJT 実施

イ キャリアパス制度に基づく人材育成の推進

- 職位や職種に応じた研修への参加

③ 地域社会への貢献と信頼構築

ア 地域との連携と地域貢献

- 母子支援に関する専門性を活かした子育て短期支援事業（ショートステイ）の実施
- ホームページの開設
- 実習生の受入れ
- 宇都宮市女性相談所及び宇都宮市児童民生委員児童福祉部会の見学受入れ

④ 健全で堅実な経営

ア 健全で安定的な財務基盤の確立

- 福祉事務所あてダイレクトメールの発送及び電話による施設の広報活動の実施

イ コンプライアンス（法令遵守）の徹底

- 法令改正等に係る情報の収集及び職員間での共有

(2) 事業実績

ア 母子生活支援施設 定員 20 世帯

年度別 区分	令和 5 年度			令和 6 年度		
	年間延利用者 数（月単位）	月平均	稼働率 （％）	年間延利用者 数（月単位）	月平均	稼働率 （％）
世帯数（世帯）	179	14.9	74.6	210	17.5	87.5
家族人数（人）	497	41.4		588	49.0	
内、母親（人）	179	14.9		210	17.5	
内、児童（人）	318	26.5		378	31.5	

イ 年度末の入所利用者の状況（令和 7 年 3 月 31 日現在）

(ア) 母親の状況 (人)

区 分	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代以上	合 計
母親	0	3	7	5	2	17

(イ) 世帯当たりの人数 (世帯)

区 分	2 人	3 人	4 人	5 人以上	合 計
世帯数	9	5	2	1	17

(ウ) 児童の状況 (人)

区 分	未就学児	小学生	中学生	高校生以上	合 計
児童	12	11	4	3	30

ウ 一時保護受託事業

区 分	令和 5 年度	令和 6 年度
年間延利用日数（日）	120	193
実世帯数（世帯）	5	4

エ 緊急一時利用事業（令和 5 年度廃止事業）

区 分	令和 5 年度	令和 6 年度
年間延利用日数（日）	8	
実世帯数（世帯）	1	

オ 子育て短期支援事業（ショートステイ）（令和 6 年度新規事業）

区 分	令和 5 年度	令和 6 年度
年間延利用日数（日）		23
実世帯数（世帯）		1

カ 実施行事

時期	内 容
4 月	
5 月	○端午の節句 ○母の日イベント
6 月	○母と子のつどい（大洗水族館）
7 月	○七夕 ○流しそうめん ○調理教室
8 月	○ラジオ体操
9 月	
10 月	○親子ふれあい体験（なかがわ水遊園）
11 月	○七五三のお祝い
12 月	
1 月	
2 月	○乳幼児お楽しみ会
3 月	○ひなまつり

3 桜ふれあいの郷

(1) 事業執行概要

利用者の権利擁護に努め、自己選択や自己決定の意思及び人格を尊重するとともに、個々の能力に応じた自立と社会活動への参加を促進するよう、サービスの提供に努めた。

新型コロナウイルス等の感染症については、引き続き従来の感染予防対策を継続したが、4件のクラスターが発生し、利用者延 101 人、職員延 33 人が罹患し、事業運営に多大な影響を受けた。一方で、感染対策を取りながら、外出や旅行などの施設外活動や地域の吹奏楽団を招いた「郷フェス～桜ふれあいの郷音楽祭～」を開催するなど、利用者の生活の充実と質の向上に取り組んだ。

入所利用者の高齢化に伴う退所件数の増や入院期間の長期化により、利用者数の減少が続いているため、体験利用の積極的な受入れ、新たな短期入所利用者の獲得及び栃木県外の児童相談所とも連携した委託一時保護児童の受入れのほか、令和6年度報酬改定に対応し、重度障害者に対する加算の取得を行い、収入の確保に努めた。

また、過年度の利用者虐待事案の反省に基づき、利用者支援の向上と職員にとってやりがいを感じられる職場を目指す「桜ふれあいの郷再出発計画」の着実な実行に取り組み、前年度策定した施設理念である「しあわせの追求」に基づき、各グループのミッション、ビジョン及びバリューを策定し、目指すべき目標を共有した。

障がい者支援センターふれあいにおいては、地域で生活する障害児者やその家族への支援の拠点として、共同生活援助事業における体験利用の積極的な受入れ、相談支援事業における定期的な内部ミーティングによる情報共有、地域生活支援拠点事業及び重層的な支援体制整備への参画、障害者就業・生活支援センターにおける関係機関や企業とのネットワーク構築等に力を入れてきた。地域での課題が多様化、複雑化する中で、関係機関・行政・企業等と連携して対応し、質の高いサービス提供を目指した。

障がい者支援センターふれあいの建替整備については、地域における福祉サービスの拠点のひとつとして、令和6年度障害福祉サービス事業所等整備費補助金の内示を受け、令和7年度での完成を目指すこととなった。

(主な実施事業)

① 安全安心で良質なサービスの提供

ア 福祉サービス利用者の人権の尊重

○虐待防止委員会及び虐待防止対策部会（専門の下部組織）の定期開催、同組織を中心とした虐

待防止・権利擁護の徹底

○職員倫理綱領、職員行動指針の遵守

○法人主催の権利擁護研修への参加

イ サービスの質の向上

○施設の運営理念を更に具体化するミッション、ビジョン及びバリューの策定

○グループ等の枠を越えたケース検討による支援の質の向上への取組み

○インシデント・アクシデントの早期発見、原因分析の実施によるリスクマネジメントの徹底

○見守り機器の導入に向けたデモンストレーションの実施

ウ 利用者や家族等の満足度の向上

○各グループにおける家族交流行事の実施

○利用者家族への支援内容や行事の実施結果等の情報発信

エ 安全安心の環境整備

○設備の計画的な保守点検、破損個所の速やかな修繕

○事業継続計画（BCP）に基づく訓練及び研修の実施

② やりがいと誇りの持てる職場づくり

ア 多様な採用活動による人材確保

○施設実習やインターンシップの受入れ

○人材紹介サービスや人材派遣サービスの活用

イ キャリアパス制度に基づく人材育成の推進

○サービス管理責任者養成研修、利用者の重度化、高齢化に対応した支援技術の習得研修等の
受講

③ 地域社会への貢献と信頼構築

ア 地域との連携と地域貢献

○栃木県障害者施設・事業協会のセーフティネット拠点事業の継続実施

○いちごハートねっと事業の継続実施

○さくら市との「福祉避難所の設置運営に関する協定」及び「福祉避難所への災害福祉支援員の
派遣に関する協定」の継続

○栃木県災害福祉支援チーム（DWAT）への登録

④ 健全で堅実な経営

ア 健全で安定的な財政基盤の確立

○適切な利用調整の実施

○施設の特性、強味を活かした新規加算の取得

イ コンプライアンス（法令遵守）の徹底

○虐待防止、権利擁護、個人情報保護等に関する研修への派遣

(2) 事業実績

ア 児童施設

(ア) 障害児入所施設（定員 15 名）

年度別 区分	令和 5 年度				令和 6 年度			
	年間延 利用者数 (人)	開所日数 (日)	平均 (人/日)	稼働率 (%)	年間延 利用者数 (人)	開所日数 (日)	平均 (人/日)	稼働率 (%)
延利用者数	4,594	366	12.6	83.7	3,954	365	10.8	72.2
内、措置人数	4,026	366	11.0		3,256	365	8.9	
内、契約人数	568	366	1.6		698	365	1.9	

(イ) 障害者支援施設（定員 生活介護 15 名 施設入所支援 15 名）

年度別 区分	令和 5 年度				令和 6 年度			
	年間延 利用者数 (人)	開所日数 (日)	平均 (人/日)	稼働率 (%)	年間延 利用者数 (人)	開所日数 (日)	平均 (人/日)	稼働率 (%)
生活介護	3,629	260	14.0	93.1	3,652	262	14.0	92.9
施設入所支援	5,477	366	15.0	99.8	5,468	365	15.0	99.9

イ 生活支援施設

障害者支援施設（定員 生活介護 135 名 施設入所支援 130 名）

年度別 区分	令和 5 年度				令和 6 年度			
	年間延 利用者数 (人)	開所日数 (日)	平均 (人/日)	稼働率 (%)	年間延 利用者数 (人)	開所日数 (日)	平均 (人/日)	稼働率 (%)
生活介護	30,009	260	115.4	85.5	28,845	263	109.8	81.2
施設入所支援	42,361	366	115.7	89.0	40,448	365	110.8	85.2

ウ 就労支援施設

障害者支援施設（定員 生活介護 40 名 就労継続支援 B 型 40 名 施設入所支援 40 名）

年度別 区分	令和 5 年度				令和 6 年度			
	年間延 利用者数 (人)	開所日数 (日)	平均 (人/日)	稼働率 (%)	年間延 利用者数 (人)	開所日数 (日)	平均 (人/日)	稼働率 (%)
生活介護	7,741	262	29.5	73.9	6,929	262	26.4	66.1
就労継続 B 型	9,510	263	36.2	90.4	9,345	262	35.7	89.2
施設入所支援	13,531	366	37.0	92.4	12,967	365	35.5	88.8

エ ふれあい

共同生活援助事業所（定員 54 名）

年度別 区分	令和 5 年度				令和 6 年度			
	年間延 利用者数 (人)	開所日数 (日)	平均 (人/日)	稼働率 (%)	年間延 利用者数 (人)	開所日数 (日)	平均 (人/日)	稼働率 (%)
共同生活援助	19,201	366	52.4	97.1	18,147	365	49.7	92.0

オ 年度末の入所利用者の状況（令和7年3月31日現在）

（人）

施設別 区分	児童施設 （障害児入所施設）	児童施設 （障害者支援施設）	生活支援施設	就労支援施設	障がい者支援 センターふれあい
10歳未満	4	0	0	0	0
10代	6	0	1	0	0
20代	0	6	7	0	4
30代	0	3	11	2	7
40代	0	4	20	10	7
50代	0	2	28	11	10
60代以上	0	0	48	12	22
合計	10	15	115	35	50
平均年齢（歳）	13.2	34.3	56.1	54.3	53.9
平均障害支援区分	—	5.2	5.5	4.5	3.6

カ 短期入所（定員 児童施設1名 生活支援施設3名 就労支援施設1名）

（人）

区分	令和5年度			令和6年度		
	児童	生活	就労	児童	生活	就労
年間延利用者数	10	150	0	281	185	23
実利用人数	3	4	0	2	6	1

キ 日中一時支援事業（定員15名）

（人）

区分	令和5年度	令和6年度
年間延利用者数	1,353	1,585
実利用人数	15	14

ク 一時保護受託事業

（人）

区分	令和5年度	令和6年度
年間延利用者数	73	349
実利用人数	3	6

ケ 障がい者支援センターふれあい実施事業

事業名	区分	令和５年度	令和６年度	備考
職場適応援助者 (ジョブコーチ) 支援事業	利用者支援（件）	43	0	令和６年度休止
	ケース会議等（件）	5	0	
障害者就業・生活支援 センター	相談支援件数（件）	1,933	1,948	就業支援担当者 ３名（専従３） 生活支援担当者 １名（専従１）
	職場実習件数（件）	25	21	
	就職件数（件）	35	36	
	相談・支援を行った事業所数（か所）	159	180	
	事業主相談・支援件数（件）	1,387	1,430	
相談支援事業	計画相談支援（件）	890	729	サービス利用支援 258 件 継続サービス利用支援 471 件
	障害児相談支援（件）	60	42	サービス利用支援 19 件 継続サービス利用支援 23 件
	地域相談支援（件）	0	0	
	障害者相談支援事業（件）	1,336	1,235	さくら市受託事業
	障害支援区分認定調査業務（件）	47	46	さくら市受託事業

コ 就労支援事業

(ア) 作業内容

種別	内容
受託加工	Tシャツ、ポロシャツ、エコバッグ等へのプリント加工、自動車部品のバリ取り、餃子の箱組立て、ラテックス手袋たたみ、パンフレット差込み、シール貼り、餃子のタレ袋詰め、ポリポットシール貼り
除草作業	敷地内緑地等の除草作業（７か所）
焼き菓子・パン製造販売	焼き菓子：所内外及びクリスマス等季節のイベントギフトの製造販売、無人販売 パン：イベント等での出張販売、施設内給食への販売、所内外への注文販売、無人販売
クリーニング	施設内利用者の衣服のクリーニング
リサイクル	アルミ缶等の回収・リサイクル
その他	寄植えプランターの作成

(イ) 利用者工賃（１人当たり平均工賃月額）

(円)

項目	令和５年度	令和６年度
１人当たり平均工賃月額	17,787	26,317
目標工賃月額	15,000	20,000

サ 実施行事

時期	児童	生活	就労	障がい者支援センター ふれあい
4 月	○南那須特別支援学校 入学式		○花見	○花見
5 月		○栃木県障害者スポーツ 大会 ○端午の節句	○栃木県障害者スポーツ 大会	○栃木県障害者スポーツ 大会
6 月				○ボウリング大会
7 月		○七夕会		○1泊旅行
8 月		○花火大会	○スイカ割り	○花火大会
9 月		○家族食事会		○1泊旅行
10 月	○家族食事会 ○郷フェス	○ハロウィン ○郷フェス	○郷フェス	○郷フェス
11 月	○こぶし祭	○障文祭代替行事	○秋の旅行	○障がい者支援センター ふれあい交流会（ビン ゴ大会）
12 月	○クリスマス会	○クリスマス会	○チャリティー公演 ○クリスマス会	○クリスマス会
1 月		○新年会	○家族食事会	○カラオケ大会
2 月		○節分		
3 月	○南那須特別支援学校 卒業式			○なかよし会総会

4 清風園

(1) 事業執行概要

利用者の権利を擁護し自己選択や自己決定を尊重しながら、自立と社会参加を支援することで、利用者の自己実現が図られるようサービスを提供してきたが、不適切な支援の発生を契機とした市町による調査の結果、心理的な虐待と判断される事案が1件発生した。関係職員への聞き取りにおいて、職員間の情報共有不足や支援技術の差など組織的課題もあることが判明したため、多くの職員の参画を得て再発防止に取り組んだ。

利用者支援の質の向上については、「ノーリフティングケア」として、電動ベッドや移乗用ボードなどの設備、機器の導入と併せ、ケース検討により事例を積み重ねることでケアの浸透、拡大を図るべく取り組みを行ってきたほか、主に新任職員を対象とした介護技術研修を行った。さらに、「ノーリフティングケア」先進施設の視察を行い、職員への浸透の仕方などについて助言を得た。また、新たにナースコールシステムを導入し、利用者のコール対応を迅速に行う体制を整備した。

新型コロナウイルス等の感染症については、感染対策を行いながらサービス提供を行ったが、2件のクラスターが発生し、利用者延38名、職員延6名が罹患し、事業運営に多大な影響を受けた。一方で、感染症対策を行いながら実現可能な活動を模索し、四季折々の行事のほか、ドライブやお茶会など、利用者の日常生活の充実に取り組んだ。

(主な実施事業)

① 安全安心で良質なサービスの提供

ア 福祉サービス利用者の人権の尊重

- 権利擁護に関する研修の実施
- 法人主催の権利擁護研修への参加
- 支援内容に関するセルフチェックの実施

イ サービスの質の向上

- 会議を通じての、運営理念、サービス提供方針の周知
- 利用者の嚥下に関する評価及び研修の実施
- 「ノーリフティングケア」に取り組む先進施設の視察
- 新規ナースコールシステムの導入

ウ 利用者や家族等の満足度向上

- 利用者に対する満足度アンケートの実施

○家族会との意見交換の実施

エ 安全安心の環境整備

○設備の計画的な保守点検、破損個所の速やかな修繕

○事業継続計画（BCP）に基づく訓練及び研修の実施

② やりがいと誇りの持てる職場づくり

ア 多様な採用活動による人材確保

○人材紹介の活用による職員の確保

イ 働きやすくやりがいのある職場づくり

○施設長と新任職員との面談実施

○介護技術研修の実施

ウ キャリアパス制度に基づく人材育成の推進

○職位、職種に応じた各種研修の受講

③ 地域社会への貢献と信頼構築

ア 地域との連携と地域貢献

○機関紙「きよかぜ」の発行

○いちごハートねっと事業への継続参加

○さくら市との「福祉避難所の設置運営に関する協定」及び「福祉避難所への災害福祉支援員の派遣に関する協定」の継続

○栃木県災害福祉支援チーム（DWAT）への登録

④ 健全で堅実な経営

ア 健全で安定的な財務基盤の確立

○利用者確保に向けた相談支援事業所との連携

イ コンプライアンス（法令遵守）の徹底

○会議や研修を通じての職員への周知

(2) 事業実績

ア 生活支援施設

障害者支援施設（定員 生活介護 53 名 施設入所支援 50 名）

年度別 区分	令和 5 年度				令和 6 年度			
	年間延利用 者(人)	開所日数 (日)	平均 (人/日)	稼働率 (%)	年間延利用 者(人)	開所日数 (日)	平均 (人/日)	稼働率 (%)
生活介護	13,389	314	42.7	80.5	12,485	314	39.8	75.0
施設入所支援	17,314	366	47.4	94.6	16,180	365	44.4	88.7

イ 就労支援施設

障害者支援施設（定員 生活介護 40 名 就労継続支援 B 型 20 名 施設入所支援 40 名）

年度別 区分	令和 5 年度				令和 6 年度			
	年間延利用 者(人)	開所日数 (日)	平均 (人/日)	稼働率 (%)	年間延利用 者(人)	開所日数 (日)	平均 (人/日)	稼働率 (%)
生活介護	9,051	260	34.9	79.6	7,959	261	30.5	76.2
就労継続 B 型	5,081	260	19.6	97.7	5,164	261	19.8	98.9
施設入所支援	14,399	366	39.4	82.8	13,192	365	36.2	90.4

（令和 6 年 1 月定員変更）

ウ 年度末の入所利用者の状況(令和 7 年 3 月 31 日現在)

(人)

施設別 区分	生活支援施設	就労支援施設
10 歳未満	0	0
10 代	0	0
20 代	1	0
30 代	5	0
40 代	5	6
50 代	8	11
60 代以上	28	19
合計	47	36
平均年齢（歳）	62.8	62.3
平均障害支援区分	5.7	4.7

エ 短期入所事業（定員 生活 5 名 就労 2 名） (人)

区分	令和 5 年度		令和 6 年度	
	生活	就労	生活	就労
年間延利用者数	196	135	380	72
実人数	5	5	10	4

オ 日中一時支援事業（定員 生活 5 名 就労 2 名） (人)

区分	令和 5 年度		令和 6 年度	
	生活	就労	生活	就労
年間延利用者数	151	0	122	201
実人数	3	0	3	3

カ 就労支援事業

(7) 作業内容

種別	内容
受託加工	機械部品組立て・箱詰め、線香箱詰め
自主製品製造販売	草木染、小物の製造及びイベント等における販売
リサイクル	段ボール、アルミ缶、古紙のリサイクル
クリーニング	施設内利用者の衣服のクリーニング、施設内の清掃

(4) 利用者工賃（1 人当たり平均工賃月額） (円)

項目	令和 5 年度	令和 6 年度
1 人当たり平均工賃月額	18,313	16,797
目標工賃月額	18,400	18,659

キ 実施行事

時期	生活支援施設	就労支援施設	共通
4月	○花見会 ○桜の花見		
5月	○園芸 ○つつじの花見		○食事会（さくら会）
6月	○あじさい祭り	○足湯	
7月	○七夕祭り	○七夕の茶会	
8月	○夏祭り	○食事会（自治会）	
9月	○月見会 ○敬老を祝う会		
10月	○ハロウィン ○運動会		○家族交流食事会（さくら会）
11月	○園芸 ○ボッチャ ○はッピー喫茶	○ミニ運動会	
12月	○クリスマス・忘年会（自治会）	○クリスマス会	
1月	○お茶会・新年会（自治会）	○新年会（自治会）	
2月	○節分		
3月	○ひなまつり		

5 宝木保育園

(1) 事業執行概要

保育所保育指針及び宝木保育園の基本方針に基づき、子どもの最善の利益を考慮した保育サービスの提供を図るとともに、地域の保育拠点として、子育て相談や親子の交流の場の提供及び実習生の受入れ等を実施した。

保育目標を「光る個性 生きる力を育もう」に改め、子ども一人ひとりが自分らしく過ごせる園づくりを目指した。乳児は「ゆるやかな担当制保育」を行うことにより、保育士との愛着形成に努めたほか、園全体で子どもが自ら遊びを選択できるよう保育室内の環境設定を行った。また、保護者の理解及び協力を得て行事の見直しを行い、子ども主体の保育の実現に努めた。併せて福祉サービス第三者評価を受審し、運営課題の抽出とサービスの質の向上を図った。

全国的に少子化が進む中、年度当初の0歳児入所が例年を下回ったが、年度中の園児の積極的な受入れを行い、年間延園児数は定員数を上回ったほか公定価格の改定も受け、前年度から増収増益を達成した。

地域に開かれた施設として、地域子育て支援拠点事業（子育てサロン宝木）の開催日を増やし、子育て世帯のニーズに対応したほか、ボランティアを積極的に受け入れ、シルバーボランティアによる図書の貸出しや、お正月遊び、人間雛撮影の行事で協力を受けたほか、宇都宮中央高校及び市内中学校の学生ボランティアによる園児への手作り遊具や遊びの提供を受けた。

(主な実施事業)

① 安全安心で良質なサービスの提供

ア 福祉サービス利用者の人権の尊重

○保育理念、全国保育士会倫理綱領の周知徹底

○法人主催の権利擁護研修への参加

イ サービスの質の向上

○福祉サービス第三者評価の受審

○「ゆるやかな担当制保育」の導入による愛着形成及び子どもの主体性を育む保育の実施

○リトミック、体操、英語、サッカーの各教室の実施

○野菜作りや調理体験を通した食育の実施

○安全な食事提供を目的とした日々の食材管理や放射性物質検査の実施

○保育活動を撮影した写真（保育ドキュメンテーション）の掲示による保育内容の公開

ウ 利用者や家族等の満足度の向上

○家庭保育に対する理解と関心を深める機会としての保育体験の実施

エ 安全安心な環境整備

○事業継続計画（BCP）に基づいた訓練の実施

② やりがいと誇りの持てる職場づくり

ア 多彩な採用活動による人材確保

○保育士養成校訪問及び見学、実習の積極的な受入れ

○障害者合同就職面接会参加や障害者就業体験及び宇都宮青葉高等学園実習の受入れ

イ 働きやすくやりがいのある職場づくり

○職員からの提案を活かした業務改善の実施

ウ キャリアパス制度に基づく人材育成の推進

○保育士等キャリアアップ研修ほか、職位、職種に応じた研修の受講

③ 地域社会への貢献と信頼構築

ア 地域との連携と地域貢献

○地域子育て支援拠点事業（子育てサロン宝木）の実施

○多様な保育ニーズに対応した延長保育、休日保育及び一時保育の実施

○県立聾学校幼稚部との交流や小学校との交流

④ 健全で堅実な経営

ア 健全で安定的な財務基盤の確立

○新規乳幼児の積極的な受入れ

イ コンプライアンス（法令遵守）の徹底

(2) 事業実績

ア 保育所 利用定員 160 名

年度別 区分	令和 5 年度			令和 6 年度		
	合計（人）	平均(人/月)	稼働率（％）	合計（人）	平均(人/月)	稼働率（％）
0 歳児	205	17.1		214	17.8	
1 歳児	323	26.9		324	27.0	
2 歳児	342	28.5		322	26.8	
3 歳児	360	30.0		352	29.4	
4 歳児	360	30.0		360	30.0	
5 歳児	357	29.8		360	30.0	
合計	1,947	162.3	101.4	1,932	161.0	100.6

イ 入退所及び年度末の利用児の状況

(人)

年度別 区分	令和 5 年度			令和 6 年度		
	入所児数	退所児数	3 月 31 日現在 利用児数	入所児数	退所児数	3 月 31 日現在 利用児数
0 歳児	22	1	22	21	3(2)	22
1 歳児	8	2(1)	26	7	0	27
2 歳児	2	6(2)	28	3	1	27
3 歳児	1	0	30	4	0	30
4 歳児	0	0	30	0	0	30
5 歳児	1	31(30)	30	0	30(30)	30
合計	34	40(33)	166	35	34(32)	166

注) () 内は、3 月 31 日付け退所児の再掲

ウ 休日保育

区分	令和 5 年度	令和 6 年度
年間延利用児数（人）	449	425
実人数（人）	29	30
開所日数（日）	73	72

エ 延長保育

区分	令和 5 年度	令和 6 年度
年間延利用児数（人）	1, 602	1, 736
実人数（人）	80	83
開所日数（日）	229	231

オ 一時保育

区分	令和 5 年度	令和 6 年度
年間延利用児数（人）	18	9
実人数（人）	5	5
開所日数（日）	243	243

カ 地域子育て支援拠点事業

区分	令和 5 年度	令和 6 年度
年間延利用者数（人）	6, 757	7, 561
開所日数（日）	198	208

キ 実施行事

時期	内 容
4 月	○入園式 ○進級式
5 月	○こどもの日のお祝い ○保育参観（5 歳児） ○親子遠足（3、4 歳児）
6 月	○保護者体験保育（1 月まで） ○交通安全教室（3、4、5 歳児） ○聾学校との交流（5 歳児） ○遠足（5 歳児）
7 月	○プール開き ○七夕
8 月	○宇都宮百年花火（5 歳児花火の絵出展）
9 月	○トッキーダンス収録（5 歳児） ○親子レクリエーション（0、1 歳児）
10 月	○修園旅行（5 歳児） ○下野教育美術展出展（5 歳児） ○食育遠足（3、4、5 歳児）
11 月	○観劇会（人形劇） ○総合防災訓練 ○秋まつり（3、4、5 歳児）
12 月	○クリスマス会 ○防犯教室（3、4、5 歳児） ○観劇会（人形劇）
1 月	○お正月あそび（3、4、5 歳児） ○卒園記念製作陶芸教室（5 歳児） ○いちご王国栃木の日絵画出展（5 歳児）
2 月	○節分 ○入園児説明会及び面接 ○保護者との個人面談 ○人間雛撮影
3 月	○ひなまつり ○交通安全教室（3、4、5 歳児） ○卒園式 ○入園児説明会及び面接 ○はなぐみお別れ会（3、4、5 歳児）

Ⅲ 生きがい健康部所管事業

1 事業執行概要

(1) 生きがいづくり課

指定管理事業である栃木県シルバー大学校の運営及び高齢者生きがいづくり支援事業として、高齢者の自主的かつ積極的な生きがいづくりの支援、豊かで生きがいに満ちた高齢社会を形成するため、「はつらつプラン 21（九期計画）」や「とちぎ健康 21 プラン（2 期計画）」に沿った生きがいづくり事業を実施した。

栃木県シルバー大学校の運営においては、人生 100 年時代を念頭に置いた学習カリキュラムの導入による学校の魅力度向上や登校が難しい学生への受講機会の提供を目的としたオンライン配信授業の体制整備を行った。また、学校の認知度向上を図り入学者数を確保するための各種の取組みを行った。

高齢者生きがいづくり支援事業においては、全国健康福祉祭（ねんりんピック）の予選会の位置づけである、ねんりんピックとちぎ 2024 を開催し、第 36 回全国健康福祉祭とっとり大会に栃木県選手団を派遣した。また、介護支援専門員（ケアマネジャー）実務研修受講試験及び介護支援専門員の各種法定研修を実施した。

(主な実施事業)

① 安全安心で良質なサービスの提供

ア 栃木県シルバー大学校の運営

○IT リテラシーを学ぶ授業の実施

○e スポーツの導入に向けた体制整備及びオンライン配信による授業のハイブリッド化の体制整備

○在校生に対する学校運営アンケート、卒業生に対する卒業後の社会活動状況アンケートの実施

イ ねんりんピックとちぎ 2024 の開催

○スポーツ・文化交流大会（16 種目 参加者 2,153 名）

○シルバー作品展（6 部門 出展数 190 点）

ウ 第 36 回全国健康福祉祭とっとり大会への選手団の派遣及び美術展への出展

○派遣選手団（19 種目 124 名）

○美術展（出展数 12 点）

エ 介護支援専門員実務研修受講試験の実施

○試験日：令和6年10月13日

オ 介護支援専門員の各種法定研修の実施

○研修実施期間：令和6年6月から令和7年3月まで

② やりがいと誇りの持てる職場づくり

ア 人材育成、キャリアアップのための外部研修への参加

③ 地域社会への貢献と信頼構築

ア 情報誌「いきいきとちぎ」の発行による高齢者の生きがいと健康づくりに関する情報提供

○発行数：年3回 4,000部／回

○配布先：市町、関係機関、公民館、病院、薬局等へ無料配布

イ 栃木県シルバー大学校の卒業生や地域の人を対象に、世代間交流や放課後学習支援を目的とした地域活動を行うための備品の無料貸出し

④ 健全で堅実な経営

ア 栃木県シルバー大学校入学生増に向けた取組み

○三校合同授業の一般公開の実施

○ホームページやX（旧Twitter）を活用したシルバー大学校の魅力の発信の強化

○学校説明会の開催、授業の公開講座（県民の日協賛事業）の実施

イ 賛助会員の増加への取組み

○イベント「とちぎ健康の森健康づくり Day2024」における展示ブースの提供

(2) 健康づくり課

生活習慣の改善による生活習慣病の予防と県民の自主的な健康づくりを総合的に支援するため、「運動・栄養・休養」の視点から様々な健康づくり事業を行った。

特に、「とちぎ健康21プラン（2期計画）」や「健康長寿とちぎづくり推進条例」に基づいて設置された「健康長寿とちぎづくり推進県民会議」の一員として、関係機関及び団体との連携や協働により事業を実施した。

また、県民誰もが安全安心かつ快適に利用できる公の施設として、「とちぎ健康の森」の敷地内緑地の適正管理や施設、設備の維持管理に努めるとともに、とちぎ健康づくりセンター及びとちぎ生きがいづくりセンターの広報活動や利用、貸出しに係る個人情報の保護に配慮した。

なお、空調電気設備改修工事（長寿命化）のため、令和6年10月から令和7年1月までプール、トレーニング室の休業、施設の休館とする対応を取ったが、別のフロアにおいてレッスンや施設利用講習を実施し、利用者の減少の抑止と利用者の満足度の向上に努めた。また、今後の利用者数の回復に

繋げる対策として、敷地内での広報活動を行い、「おもてなしの心」をもって利用者へのサービス向上に努めたほか、ウォーキングコース内に健康器具を設置し、県民の健康づくりに寄与した。

(主な実施事業)

① 安全安心で良質なサービスの提供

ア 施設利用講習、健康づくり講座、集団指導、体力測定等の実施（施設利用講習や集団指導、講座等のインターネット予約の運用）

○年齢や体力に応じて選ぶことができる、2種類の短時間レッスンを組み合わせたミックスレッスンの実施

○地域や団体等に出向いた講座や研修会の実施

- ・企業、団体等に向けた健康づくり講座等の実施
- ・市町職員等の健康づくり活動を支援する研修会の実施

イ 健康づくりに関する相談や情報発信、普及啓発

○情報提供コーナーの設置と健康情報のホームページへの掲載

ウ 建物及び設備の定期点検、保安警備及び敷地内緑地等の維持管理の実施

○施設の大規模改修工事（県予算）に伴う県及び関係機関との連絡調整及び対応

- ・本館空調電気設備改修工事（長寿命化）（工期：令和5年10月～令和8年2月）

○省エネルギーの取組みとして既存照明機器等のLED化の実施

エ 災害や事故等の危機管理対策としての防災訓練（日中及び夜間）の実施

オ 館内防犯対策としての不審者対応訓練の実施

カ 利用者ニーズや利便性を考慮した施設運営の実施

○ホームページやLINEを活用した情報配信

○施設予約及び施設利用講習や集団指導、各種講座のインターネット予約の運用とマイページ登録の導入

○キャッシュレス決済機能搭載の券売機への更新とプリペイドカード特典の終了

○企業等への利用チケット制の実施

○プール、トレーニング室の利用促進キャンペーンの実施及びオリジナルグッズの有償頒布

○レッスン前後各20分間の運動実践指導員による運動指導（ミニレッスン）の実施

○プレミアムヨガ講座の実施

キ とちぎ健康づくりセンター主催イベントの実施

○とちぎ健康の森健康づくり Day2024 の実施

ク ウォーキングコース沿いにおいて、軽いストレッチやトレーニングができる健康器具の設置

② やりがいと誇りの持てる職場づくり

ア 定例ミーティングの開催による情報の共有

イ OJT による新人職員の育成、接遇や運動指導技術等に関する研修の実施

③ 地域社会への貢献と信頼構築

ア 施設休館中における健康の森敷地内で運動実践指導員によるウォーキング指導の実施

イ 地域の学校からの職場体験の受入れ

ウ 県内大学看護学部の実習の受入れ

エ 家庭の日における親子を対象とした運動フロアの無料開放

④ 健全で堅実な経営

ア アンケート等による利用者ニーズの把握やニーズに沿った「運動・栄養・休養」の各種事業の実施による利用者の確保

○利用者の裾野拡大のためとちぎ生きがいくくりセンター県南、県北支所を活用したレッスンや講座の実施

○継続利用に向けた仕組みづくり（運動メニューの作成や集団指導、簡易測定）

イ 電力、ガスのデマンド監視による最大需要量の抑制、省資源及び省エネルギーの取組み

(3) 生きがい就労課

高齢者が長年培った豊かな経験と知識、技能を生かし、働くことを通して地域社会の活性化に貢献し、健康で生きがいをもった高齢期を送ることができるよう、公益財団法人栃木県シルバー人材センター連合会が、高齢者の希望に応じた就業機会を確保し、安全で適正な就業を提供するため実施した次の事業について支援を行った。

① シルバー人材センター事業

栃木県内のシルバー人材センター事業の普及啓発、運営の相談、指導及び助言を行うとともに、県内センターの会員確保及びシルバー事業の拡充を支援した。

② 高齢者活躍人材確保育成事業

シルバー人材センターでの就業を希望する高齢者を対象に、就業体験や様々な技能講習等を実施し、就業機会の拡大を図った。

2 事業実績

(1) とちぎ健康づくりセンター

ア 施設貸出

(時間)

区分		年間利用時間		月平均利用時間	
		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
大会議室		1,141	1,020	95.1	85.0
小会議室		815	856	67.9	71.3
多 目 的 フ ロ ア	A 全面	761	350	63.4	29.2
	A 2/3 面	5	32	0.4	2.7
	A 1/2 面	44	18	3.7	1.5
	A 1/3 面	13	0	1.1	0
	B	447	300	37.3	25.0
	C	566	448	47.2	37.3
	計	1,836	1,148	153.0	95.7
エアロビクススタジオ		1,379	821	114.9	68.4
運 動 フ ロ ア	全面	214	174	17.8	17.8
	1/2 面	243	273	20.3	22.8
	1/3 面	379	217	31.6	18.1
	1/6 面	43	20	3.6	1.7
	計	879	684	73.2	60.4
合計		6,050	4,529	504.2	380.8

イ 施設利用者

(人)

区分 \ 項目		年間利用者数		月平均利用者数	
		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
施設利用講習	大人	1,717	1,417	143.1	118.1
	小人	219	178	18.3	14.8
	計	1,936	1,595	161.3	132.9
施設利用カード 更新	更新者数	1,444	1,198	120.3	99.8
	面接者数 (再掲)	503	467	41.9	38.9
体力測定		252	180	21.0	15.0
温水プール トレーニングルーム ランニングデッキ リラクゼーションルーム		63,975	59,639	5,331.3	4,969.9
合計		67,607	62,612	5,633.9	5,217.6

ウ 健康づくり事業

(上段：人、下段：回)

区分 \ 項目		年間利用者数		月平均利用者数	
		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
施設利用講習	受講者数	1,936	1,595	161.3	132.9
	実施回数	192	149	16.0	12.4
体力測定	受検者数	252	180	21.0	15.0
	実施回数	139	88	11.6	7.3
簡易測定	受検者数	13	24	1.1	1.9
	実施回数	21	35	1.8	2.9
健康づくり講座	受講者数	1,057	1,319	88.1	110.0
	実施回数	12 種 84	13 種 88	7	7.3
集団指導	受講者数	12,713	14,269	1,059.4	1,189.1
	実施回数	22 種 560	28 種 554	46.7	46.2
計	受講者数等	15,971	17,387	1330.9	1,448.8
	実施回数	996	914	83.1	76.1

(2) とちぎ生きがいつくりセンター

栃木県シルバー大学校学生数（令和 7 年 3 月 31 日現在）

（人）

期別 学校名（期別定員）	44 期	45 期	合計
中央校(320)	214	230	444
南校(120)	92	100	192
北校(120)	71	77	148
合計(560)	377	407	784

(3) ねんりんピックとちぎ及び全国健康福祉祭

事業名	実施日	実施会場	実施内容
ねんりんピックとちぎ 2024 スポーツ・文化交流大会	令和 6 年 4 月 18 日 ～6 月 16 日	栃木県内 各市町	19 種目中 16 種目実施 (2 種目中止、1 種目未実施)
ねんりんピックとちぎ 2024 シルバー作品展	令和 6 年 5 月 29 日 ～6 月 2 日	とちぎ健康の森	シルバー作品展審査会 (令和 6 年 5 月 28 日 6 部門)
第 36 回全国健康福祉祭 とっとり大会	令和 6 年 10 月 19 日 ～10 月 22 日	鳥取県内 19 市町村	スポーツ交流大会 10 種目 ふれあいスポーツ交流大会 7 種目 文化交流大会 2 種目 計 19 種目 美術展：6 部門 12 点

(4) 介護支援専門員実務研修受講試験

区分	令和 5 年度	令和 6 年度
実施日	令和 5 年 10 月 8 日	令和 6 年 10 月 13 日
申込者数（人）	794	716
受験者数（人）	716	636
合格者数（人）	161	232
合格率（％）	22.5	36.5

(5) 介護支援専門員研修

年度別 研修名	令和 5 年度		令和 6 年度		備考
	実施月	受講者等(人)	実施月	受講者等(人)	
介護支援専門員実務研修	令和 5 年 12 月 ～令和 6 年 3 月	受講者数 153 修了者数 148	令和 6 年 12 月 ～令和 7 年 3 月	受講者数 221 修了者数 219	介護支援専門員実務研修受講試験合格者に対する研修
介護支援専門員 専門研修（課程Ⅰ）	令和 5 年 6 月 ～8 月	受講者数 54 修了者数 54	令和 6 年 6 月 ～8 月	受講者数 73 修了者数 73	就業後 6 ヶ月以上の者を対象とし、必要に応じた専門知識、技能の修得を図る研修
介護支援専門員 専門研修（課程Ⅱ）	令和 5 年 7 月 ～11 月	受講者数 103 修了者数 101	令和 6 年 7 月 ～11 月	受講者数 89 修了者数 88	就業後 3 年以上の者を対象とし、必要に応じた専門知識、技能の修得を図る研修
主任介護支援専門員研修	令和 5 年 12 月 ～令和 6 年 3 月	受講者数 77 修了者数 76	令和 6 年 11 月 ～令和 7 年 2 月	受講者数 64 修了者数 64	ケアマネジメントが適切かつ円滑に提供されるために必要な業務に関する知識及び技能を修得する研修
介護支援専門員更新 研修（実務未経験者）	令和 5 年 12 月 ～令和 6 年 3 月	受講者数 54 修了者数 48	令和 6 年 12 月 ～令和 7 年 3 月	受講者数 47 修了者数 45	更新時に定期的な研修受講機会を確保し、専門職として能力の保持・向上を図る研修
介護支援専門員更新 研修（実務経験者）	令和 5 年 6 月 ～11 月	受講者数 314 修了者数 300	令和 6 年 6 月 ～11 月	受講者数 286 修了者数 281	
介護支援員専門員再 研修	令和 5 年 12 月 ～令和 6 年 3 月	受講者数 122 修了者数 121	令和 6 年 12 月 ～令和 7 年 3 月	受講者数 80 修了者数 76	介護支援専門員として必要な知識、技能の再修得を図る研修

年度別 研修名	令和 5 年度		令和 6 年度		備考
	実施月	受講者等(人)	実施月	受講者等(人)	
主任介護支援専門員 更新研修	令和 5 年 8 月 ～12 月	受講者数 140 修了者数 139	令和 6 年 9 月 ～12 月	受講者数 148 修了者数 147	更新時に定期的な研修 受講機会を確保し、主任 介護支援専門員の役割 を果たすために必要な 能力の保持・向上を図る 研修
合計		受講者数 1,017 修了者数 987		受講者数 1,008 修了者数 993	

IV 評議員会・理事会の開催状況

1 評議員会

回数	開催年月日	区分	内容
第 78 回	令和 6 年 4 月 1 日	決議の省略	役員の選任について
第 79 回	令和 6 年 6 月 18 日	議事	第 1 号 令和 5 年度とちぎ健康福祉協会決算について
		報告	第 1 号 令和 5 年度とちぎ健康福祉協会事業報告について
第 80 回	令和 7 年 3 月 26 日	議事	第 1 号 とちぎ健康福祉協会の役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について
		報告	第 1 号 令和 7 年度とちぎ健康福祉協会事業計画について 第 2 号 令和 7 年度とちぎ健康福祉協会資金収支予算について 第 3 号 桜ふれあいの郷障がい者支援センターふれあいの建替整備について

2 理事会

回数	開催年月日	区分	内容
第 113 回	令和 6 年 4 月 1 日	決議の省略	理事長の選定について 常務理事の選定について
第 114 回	令和 6 年 6 月 3 日	議事	第 1 号 令和 5 年度とちぎ健康福祉協会事業報告について 第 2 号 令和 5 年度とちぎ健康福祉協会決算について 第 3 号 令和 6 年度とちぎ健康福祉協会資金収支補正予算について 第 4 号 清風園無線式ナースコールシステムの取得に係る契約締結の方法等について 第 5 号 第 79 回とちぎ健康福祉協会評議員会の開催について
		報告	第 1 号 理事長及び常務理事の職務執行状況について
第 115 回	令和 6 年 12 月 5 日	議事	第 1 号 令和 6 年度とちぎ健康福祉協会資金収支補正予算について 第 2 号 桜ふれあいの郷の電気需給契約締結の方法等について 第 3 号 清風園給食業務委託に係る契約締結の方法等について
		報告	第 1 号 清風園無線式ナースコールシステムの取得に係る入札の結果について 第 2 号 第 36 回全国健康福祉祭とっとり大会栃木県選手団派遣業務に係る入札の結果について 第 3 号 理事長及び常務理事の職務執行状況について

第 116 回	令和 7 年 3 月 18 日	議事	第 1 号 とちぎ健康福祉協会職員の給与等の支給に関する規程の一部改正について 第 2 号 とちぎ健康福祉協会の役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について 第 3 号 とちぎ健康福祉協会職員就業規程の一部改正について 第 4 号 とちぎ健康福祉協会嘱託職員就業規程の一部改正について 第 5 号 とちぎ健康福祉協会経理規程の一部改正について 第 6 号 役員等賠償責任保険契約について 第 7 号 令和 7 年度とちぎ健康福祉協会事業計画について 第 8 号 令和 7 年度とちぎ健康福祉協会資金収支予算について 第 9 号 令和 6 年度とちぎ健康福祉協会資金収支補正予算について 第 10 号 桜ふれあいの郷障がい者支援センターふれあいの建替整備新築工事に係る契約締結の方法等について 第 11 号 事務局の長及び施設の長の任免について 第 12 号 役員候補者の選任について 第 13 号 評議員選任・解任委員会委員の選任について 第 14 号 第 80 回とちぎ健康福祉協会評議員会の開催について 第 15 号 第 81 回とちぎ健康福祉協会評議員会の開催について
		報告	第 1 号 桜ふれあいの郷障がい者支援センターふれあいの建替整備について 第 2 号 桜ふれあいの郷の電力調達に係る入札の結果について 第 3 号 清風園給食業務委託に係る入札の結果について
第 117 回	令和 7 年 3 月 25 日	決議の省略	事務局の長の任免について